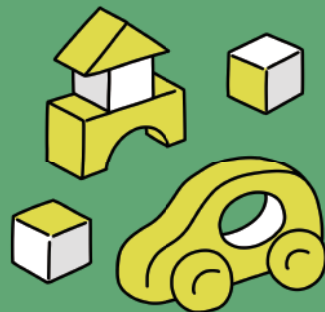
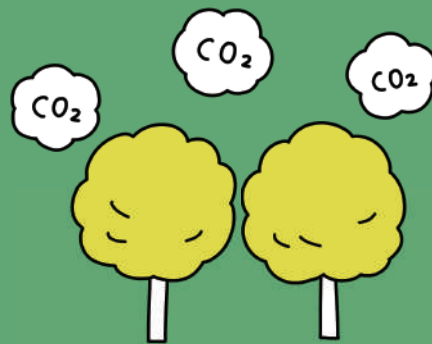
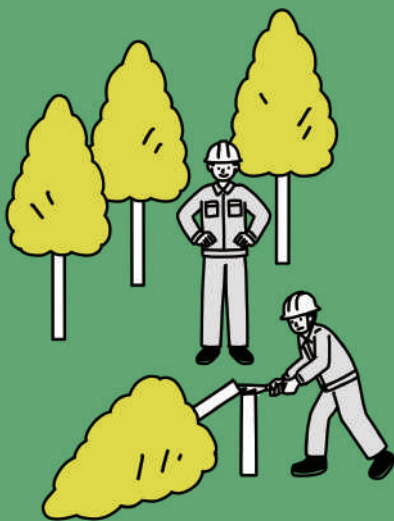


琵琶湖 森林づくり パートナー



滋賀県版 企業の森林づくり

ご案内



滋賀県

未来のために しがの森林で 今、企業にできること

近畿1450万人のライフライン 琵琶湖 その源は しがの森林

滋賀県は本州のほぼ中央部に位置する内陸県で県土面積の6分の1が琵琶湖、2分の1が森林となっています。伊吹山地、比良山地、鈴鹿山脈などを源とする、大小約450もの河川が琵琶湖に流れ込んでおり、琵琶湖を中心に滋賀全体がひとつの流域にまとまっています。

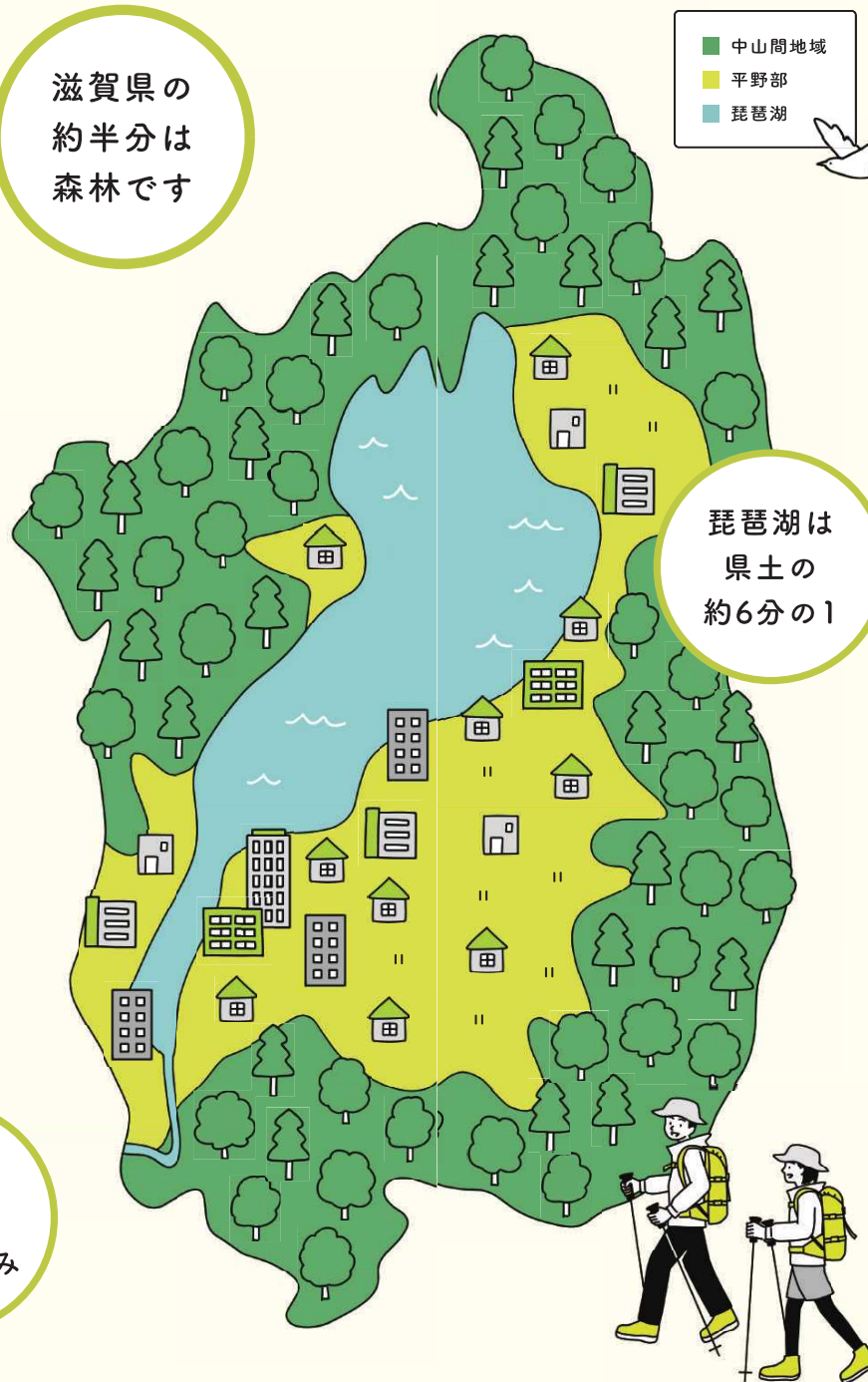
その水が流れ出るのは、瀬田川のみとなっており、宇治川、淀川と名前を変えながら京都、大阪を経て大阪湾へ流れるこの豊かな水は、滋賀県だけでなく下流域のライフラインとなっています。

この豊かな水の源は、琵琶湖を取り囲む森林であり、滋賀県の森林に関することは、県内企業のみならず、下流域の企業や水とのつながりのある全ての企業にとって大きな意義があります。



琵琶湖の
出口は
瀬田川のみ

滋賀県の
約半分は
森林です



琵琶湖は
県土の
約6分の1

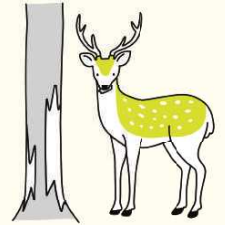
水源の森林で今起きていること

滋賀の森林は、琵琶湖や淀川流域の重要な水源であり、土砂の流出を防ぎ、生物多様性を保全し、木材を生産し、二酸化炭素を吸収するなど、人々の暮らしと切り離すことができない貴重な財産です。

しかし、様々な社会情勢やライフスタイルの変化によって、所有者や境界が不明な森林が増加し、手入れの行き届かない森林がみられるようになりました。

特に近年は、ニホンジカによる下層植生の食害に伴う土砂流出の恐れや、頻発する気象災害等による風倒木や流木、土砂災害などの新たな課題も生じています。また、森林所有者をはじめ山村地域に住み、森林を守り育ててきた地域のコミュニティ「やま」が、高齢化や過疎化により失われつつあり、森林に関わる人材確保も大きな課題となっています。

このような状況をそのまま放置すれば、森林の持つ様々な機能が損なわれ、滋賀県内のみならず、下流域も含めた人々の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念されます。



どんな形でも、森林・やまに関わることが、 琵琶湖にそそぐ一滴のしづくに

「滋賀県の森林に関わることの意義はわかったけど、具体的にどうしたらいいの？」と思われた企業の皆様へ、滋賀県ではニーズに合わせた様々な関わり方をご提案しています。

森林整備への費用支援、社員参加による間伐や下刈り作業、里山整備のボランティア活動への参加など、森林整備への直接的な取組は、とてもわかりやすい関わり方です。しかし、初めて取り組む企業には少々ハードルを感じることもありますので、別のアプローチも必要だと考えています。

子どもの森林環境学習や、子どもが木に触れ合う「木育」への支援を通じて、次世代育成に貢献いただくこと、滋賀県産木材であるびわ湖材をオフィスに活用していただくこと等も立派な森林との関わり方です。

そして何よりも森林に出かけていただくことが第一歩になります。

木や土に触れて自然とつながり、山村地域の人々の暮らしに触れ、森林空間を活用した健康づくりやアクティビティを体験する。そんな楽しみ自体が、都市とやまをつなぐ人と経済の循環を生み出し、山村地域のコミュニティを維持し、森林を守り育てることにつながります。それが、滋賀県の進める「やまの健康推進プロジェクト」です。

どんな形でも森林・やまに関わることが、森、川、里、湖、海をめぐる循環の一助となります。琵琶湖水源の森林は、企業の皆様のご参画をお待ちしています。

行政が多様な森林づくりをサポート！



やまと企業のニーズを
マッチングします



活動希望エリアで
候補地を探します



複数メニューの組み合わせも
ご相談ください



企業価値の向上と
地域の課題解決をつなげます

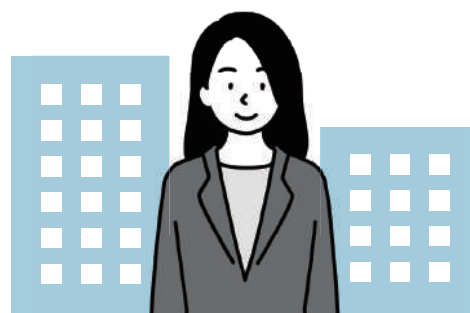
例えば、こんなニーズ

やまのニーズ

- 森林を管理する資金が足りない
- 森林を管理する人手が足りない
- 暗い森になり、多様な生き物をみかけない
- 森林への関心が低く、森に人が入らない
- 県産木材の利用を促進したい

企業のニーズ

- 企業CSRとして森づくりをしたい
- CO₂削減や気候変動対策に貢献したい
- 森林空間を利用して新しい活動をしたい
- 森林環境教育に関わりたい
- 県産木材を使ってノベルティ商品などをつくりたい





企業の森林づくり 「都市」と「森林・やま」の循環



森林整備



社員による森林づくり活動

琵琶湖水源の森林づくりへの支援

企業と森林所有者が締結する協定等に基づき、企業から提供いただいた費用をもとに、森林整備を実施したり、社員による森林づくり活動に取り組みます。ご希望に応じ、脱炭素、森林空間利用等の他のメニューを組み合わせた独自の取組も検討していただけます。

- 琵琶湖森林づくりパートナー協定



脱炭素（J-クレジット等）



計画的に間伐された人工林

森林整備を通じたカーボンオフセット

滋賀県内の森林所有者等が創出している森林由来のJ-クレジット（びわ湖カーボンクレジット）の購入や、森林整備によるCO2吸収量を滋賀県が認証する「滋賀県森林CO2吸収量認証制度」がご利用いただけます。

- びわ湖カーボンクレジット
- 滋賀県森林CO2吸収量認証制度



森林空間利用



森林空間を利用した健康づくり

山村地域を訪れ、サービス利用を通じた地域の課題解決

滋賀県内の森林空間では、健康づくり、学び、遊びなど様々な体験プログラムの提供を通じて森林を健全に保つ活動が展開されています。ニーズに応じた様々なプログラムの利用を通じて、地域のコミュニティの課題解決や、森林の利用と保全の循環の促進に貢献していただけます。

- やまの健康推進プロジェクト



木育



滋賀県産木材のおもちゃで遊ぶ子ども達

企業活動で木育に取り組む

滋賀県では、子どもから大人まであらゆる世代が、木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組「しが木育」を推進しています。企業活動に木育を取り入れることは、サービスや企業価値の向上につながります。

- 木育推進事業
- びわ湖材利用促進事業



森林を活用した次世代育成



森林環境学習「やまのこ」事業

子どもの学習環境の向上

滋賀県では、学校教育の一環として、県内全ての小学4年生を対象にした森林環境学習「やまのこ」事業、森林等の自然を活用した幼児教育・保育を推進するための「しが自然保育認定制度」により、幅広い世代への森林環境学習を推進しています。寄附等を通じて、子どもの学習環境向上に貢献していただけます。

- 森林環境学習「やまのこ」事業
- しが自然保育認定制度



木材利用

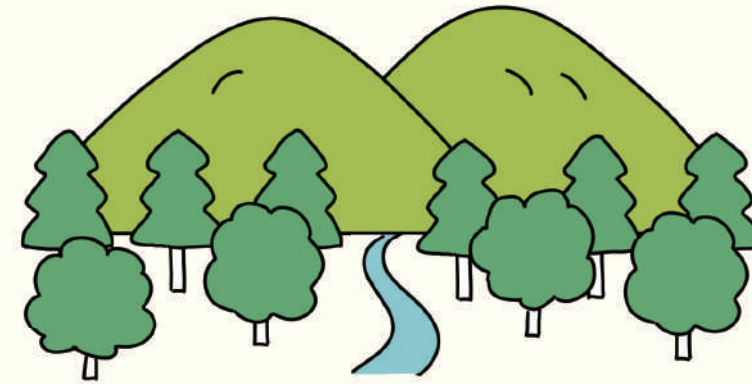


内装が木質化されたオフィス

オフィスの木造・木質化

一定の基準を満たしたうえで、滋賀県産木材である「びわ湖材」を利用することは、地域経済の活性化や滋賀県内の森林の保全に繋がります。また、木材には癒しや湿度調節など様々な効果があることが科学的にも実証されており、オフィスを木質化することで働く環境を快適にすることが期待できます。さらに、木材の利用は脱炭素社会の実現にも資することから、企業価値の向上につながります。

- びわ湖材利用促進事業
- 木の香る淡海の家推進事業



森林・やま



費用支援



水

都市



企業 × 森林 事例のご紹介

事例
1

企業 × 「森林整備」 「森林空間利用」



関西エリアでの森林づくり活動を検討されていた三機工業株式会社から相談を受け、植樹のご要望に合わせて森林所有者である金勝生産森林組合とのマッチングを開始しました。調整を進める中で、滋賀県がやまの健康推進プロジェクトとして進めている森林空間を利用した新たな価値の創出にもご賛同いただき、一般社団法人栗東市観光協会が進める森林空間を利用した観光事業等の推進にも参画いただくこととなりました。

企業のご要望と地域の課題解決を結びつけることで、従来の琵琶湖森林づくりパートナー協定が進めてきた森林整備への支援に加え、森林空間利用に対する支援も含んだ県内初の事例となりました。



事例
2

企業 × 「木育」



株式会社GRIP'Sにおいて運営されている携帯電話ショップには、びわ湖材を使用した木の空間「赤ちゃん木育ひろば」が設けられています。待ち時間の間も、子どもが木とふれあいながらゆっくりとくつろげるため、子ども連れの方も安心して利用することができます。（また、当企業では「木のぬくもりの中で一人ひとりの個性を育てる保育」のコンセプトのもと企業主導型保育園を運営されており、子どもが生まれても安心して働き続けられる環境づくりに取り組まれています。）

事例
3

企業 × 「次世代育成」 「森林整備」



滋賀県長浜市の北端に位置する「奥びわ湖・山門水源の森」は、ブナ林やアカガシ林に囲まれた県下最大級の山門湿原を有する県有地で、ミツガシワをはじめとする貴重な植物の宝庫となっています。企業の関わり方は、社員研修の場として利用されたり、ネーミングライツや寄附など多様です。これまでの様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域として、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。



近いやん、 しがの森林

各地からのアクセス良好で参加しやすい
「しがの森林」で活動をはじめませんか？

JR(琵琶湖線新快速)

「京都」駅から「大津」駅へ約**10分**

「大阪」駅から「大津」駅へ約**40分**

新幹線

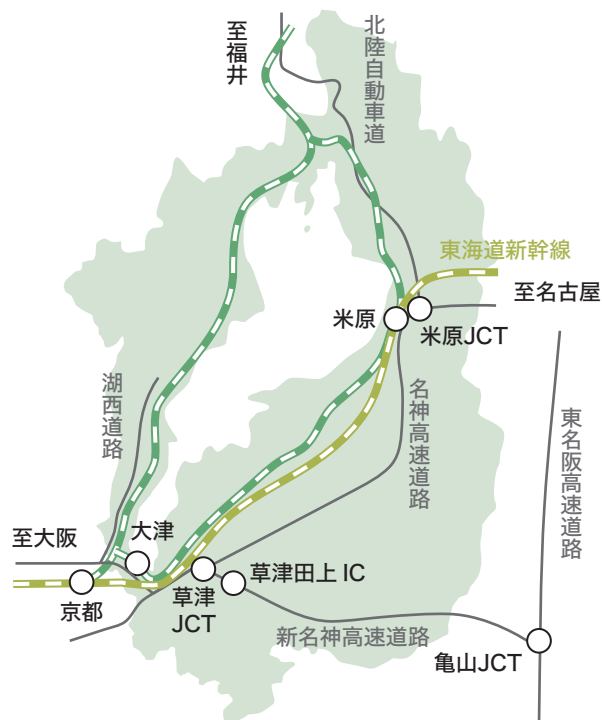
「名古屋」駅から「米原」駅へ約**30分**

「東京」駅から「米原」駅へ約**130分**

自動車

新名神「名古屋」ICから「草津田上」ICへ約**125km**

名神「吹田」ICから「草津田上」ICへ約**50km**



お問い合わせ

令和6年3月 発行

滋賀県 琵琶湖環境部 森林政策課

E-mail dj00@pref.shiga.lg.jp

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1

TEL 077-528-3918 / FAX 077-528-4886

